

# 土木学会論文集II

1994-8 NO.497  
II-28



JOURNAL OF  
HYDRAULIC, COASTAL AND  
ENVIRONMENTAL ENGINEERING

JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

地球を切る! 視る! 創る!

3次元地質解析システム

# GEORAMA

ジオラマ

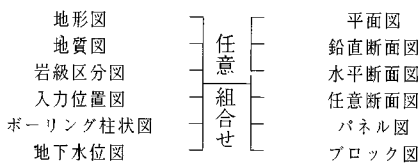
## 概要

地質調査で得られたデータを基に、利用者の判断を加味して3次元地質モデルを作成します。この3次元モデルより地質・岩級区分・地下水位等をグラフィック表示並びに作画します。今後この3次元モデルを利用して解析用メッシュ作成等への応用が考えられます。

## 特徴

- ・走向・傾斜データも考慮できる高度な推定法
- ・複雑な地質体モデルの表現が可能
- ・ビジュアルで豊富な出力機能
- ・図面間での整合性がとれる
- ・操作性の高いシステム

## 出力図面



## ユーザーインターフェースにより、拡がる適用分野

データベース      土量計算      構造物マッピング

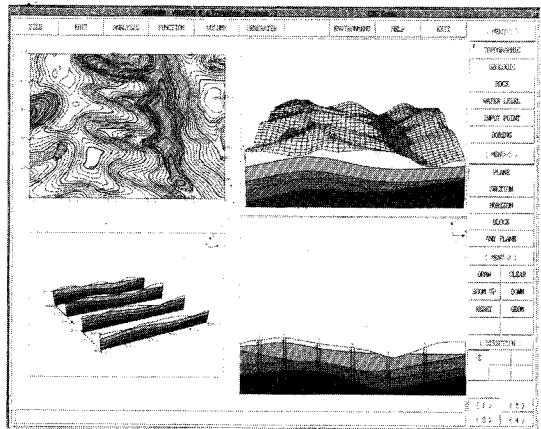
メッシュジェネレータ      プレゼンテーション資料      その他

## 標準適応機種(EWS)

- ・SONY-NEWSシリーズ\*
  - ・Sun-3,Sun4,Sun-SPARCシリーズ\*
  - ・HP9000/300,HP9000/800シリーズ\*
- \*ウィンドウシステムとしてX-Window System,Version 11(X11)が必要です。  
(標準以外のものにつきましては御相談に応じます)

(株)アイ・エヌ・エー アイサワ工業(株) アイドルエンジニアリング(株) アサヒ地水探査(株) (株)エイトコンサルタント 応用地質(株) 大阪ガス(株) 大手開発(株) (株)大林組 (株)奥村組 川崎地質(株) 基礎地質(株) (株)地球科学総合研究所 (株)地球科学総合研究所 建設省 土木研究所 五洋建設(株) 佐藤工業(株) サンコーコンサルタント(株) (株)四国総合研究所 (株)四電技術コンサルタント 清水建設(株)	(株)情報数理解研究所 (株)新日本技術コンサルタント 住友建設(株) 住友建設(株) 石油資源開発(株) 全日本コンサルタント(株) 大成建設(株) 大豊建設(株) (株)ダイワ (株)ダイワ 中央開発(株) (株)地球科学総合研究所 中電技術コンサルタント(株) 通産省 地質調査所 電源開発(株) (株)電力中央研究所 東急建設(株) 東建地質調査(株) 東京電力(株)	東電設計(株) 東電ソフトウェア(株) 東洋地質調査(株) 動力炉・核燃料開発事業団 (株)中堀ソイル 西松建設(株) (株)日本パブリック エンジニアリング (株)間組 (株)阪神コンサルタンツ ヒロセ(株) フジタ工業(株) (株)富士和ボーリング 北光ジオリサーチ(株) 北海道開発コンサルタント(株) 三井建設(株) 三菱金属(株) 村本建設(株) 明治コンサルタント(株)
---	--	---

3次元地質解析システム研究会 参加メンバー



---

# 「土木学会論文集」版下原稿書き方見本および サンプルファイル、スタイルファイルの取寄せ方

論文集編集委員会

---

すでに会告でお知らせしましたように、土木学会論文集では版下原稿による投稿を促進することを目的として原稿レイアウトの変更を致します。その新しいレイアウトによる原稿を作成するための「書き方見本」と、よく普及しているワープロなどによって版下を作成するために便利なサンプルファイルやスタイルファイルを下記の通り用意致しました。

1. 「書き方見本」(和文・英文, A4判用紙6枚)
2. Disk-1 Macintosh用のサンプルファイル集  
(和文: WordPerfect, EGWord, SoloWriter, 英文: WordPerfect, MSWord, SoloWriter)
3. Disk-2 WINDOWS用のサンプルファイル・スタイルファイル集  
(和文: WordPerfect, 一太郎, 英文: WordPerfect, MSWord)
4. Disk-3 LaTeX用のスタイルファイルとお絵描きソフト (IBM版を含む)
5. Disk-4 図化ソフト Ngraph と LaTeX用フローチャート作図ソフト (IBM版を含む)
6. Disk-5 図化ソフト Graph-P (IBM版を含む)

媒体はいずれも3.5インチ, 2HDフロッピーディスクです。Disk-1はMacintoshフォーマット, Disk-2からDisk-5はNEC規格のMS-DOSフォーマットです。

IBM互換機をご使用の方は, お手数ですがNEC社のマシンを仲介して媒体変換を行って下さい。IBM互換機で使えるのはDisk-2からDisk-5です。なお, LaTeXをお使いにならない方にもこれらのディスクにあるお絵描きソフト・図化ソフトはTeXと独立に使えます。ただし, Disk-3のお絵描きソフトによる印刷にはDisk-4の図化ソフトが必要になります。

以上のサンプルあるいはスタイルファイルの設定を変更しないで原稿を作成されれば, そのまま完全版下原稿として受理致します。

以上のうち, Disk-1とDisk-2は, 土木学会発行の「1993年版全国土木系教官・教員名簿」に記載されている大学・短期大学の各学科主任宛にお送り致しますので, ご利用下さい。

また, 上記のファイルの内容を電子的にネットワークを通してftpあるいは電子メールで受取ることができます。

## (1) ftpする場合

ftp.tohoku.ac.jpにアクセスして以下のディレクトリから必要なものを取寄せて下さい。

```
Disk-1    : pub/TeX/latex-styles/jsce/mac
Disk-2    : pub/TeX/latex-styles/jsce/windows
Disk-3    : pub/TeX/latex-styles/jsce
Disk-3 & 4 : pub/TeX/latex-styles/jsce/bear_collections/dos-pic-utils
Disk-5    : pub/msdos/gp
```

ただし, このサーバはセキュリティのためにDomain Name Severシステム対応ではないマシンからのアクセスは拒否しますので, そうなった場合にはftpmailサービスか次のmailサービスをご利用下さい。

## (2) mailによる場合

Nift ServeやPC-VANなどの商用ネットワークからの場合やftpできない環境からの場合には, freesoft@hashi1.civil.tohoku.ac.jpに

```
limit 320
send tex/jsce/jsce.lzh
```

といった電子メールを送ることによる自動返送システムが使えます。この例は320行ごとに分割してtex/jsce/jsce.lzhというファイルを用意して返送せよ, という意味です。使い方はhelpとだけ書いたメールを, 取寄せられるファイル一覧はlistとだけ書いたメールをお送り下されば返送されます。ただし, ファイル一覧はcompress+uuencodeされています。解凍のためのuncompress, lhaやuudxなどのソフトは各自そろえて下さい。

そのほか、次の要領でお申込みいただければ「書き方見本」とディスクをお送り致します。ただし、5枚1組のセット頒布のみとさせていただきます。

(1)頒布価格：1セット2000円(税・送料込み)

(2)お申込・支払方法は現金書留のみとさせていただきます。

(3)申込者の氏名、送付先所属・住所を記した申込書(適当な用紙でけっこうです)と費用を同封した現金書留が下記に届き次第、ディスクをお送り致します。

土木学会事務局編集課

〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地

以上に関するお問合せは上記宛をお願いします。ただし、技術的なご質問には即答しかねますので電話でのお問合せはご遠慮下さい。手紙かファックス(03-5379-0125)をお願いします。

なお、以下に上記「書き方見本」を添付しますので、A4判に拡大コピーしてお使い下さい(拡大率115%)。

# 土木学会論文集の完全版下投稿用 和文原稿作成例

上辺マージン 19 mm  
左マージン 20 mm

およそ 1 cm

9 pt

ゴチック, 20 pt

およそ 1.5 cm

論文集編集委員会<sup>1</sup>・事務局<sup>2</sup>・Civil ENGINEERING<sup>3</sup>

およそ 5 mm

<sup>1</sup>正会員 工博 土木大学教授 工学部土木工学科 (〒160 東京都新宿区四谷一丁目無番地)

<sup>2</sup>正会員 工修 土木建設株式会社 技術開発部 (〒160 東京都新宿区三矢六丁目13-5)

<sup>3</sup>Member of JSCE, Ph.D., JSCE Corp.

およそ 1 cm

9 pt

このファイルは土木学会論文集の完全版下原稿(和文)を作成するために必要な、レイアウトやフォントに関する基本的な情報を記述しています。と同時に版下原稿そのものの体裁(A4)をとっているため、このファイルの中の文章や図表をこれから書こうとしている実際のものに置き換えれば、所定のフォントや配置の原稿を容易に作成することができます。

このアブストラクトを含め、タイトル部分の幅は本文よりも左右1 cm ずつ狭くします。アブストラクトのフォントは明朝体 9 pt を用いてください。アブストラクトの長さは7行以内です。アブストラクトの後に1行空けて、キーワードを数語、Times-Italic 10pt のフォントで書いて下さい。

最大7行

**Key Words** : Times, italic, 10pt, several words, one blank line below ABSTRACT, indent if key words exceed one line

1行

10 pt, Italic, 最大2行

10 pt, bold, Italic

およそ 1 cm

## 1. タイトルページ

ゴチック, 11 pt

著者所属: 明朝体 9 pt フォント  
(約 1 cm のスペース)

アブストラクト: 明朝体 9 pt フォント, 7行以内 (1行のスペース)

キーワード: Times, italic, 10pt, 数語, 2行以内  
著者と所属とは肩付き数字で対応づけ, 上記のように並べて下さい。'Key Words' という文字はボールドイタリック体にします。

- タイトルページは2つの部分で構成されます。
- (a) タイトル部分(題目, 著者, 所属, アブストラクト, キーワード): 横1段組
- (b) 本文部分: 横2段組

このほか、ヘッダとフッタ(ページ番号)が付きます。なおソフトウェアによっては、タイトル部分とその下の本文部分が別のファイルに分かれていることがあります。

明朝 10 pt

EEB

### (1) タイトル部分のレイアウトとフォント

タイトル部分の左右のマージンは、本文の左右のマージンよりもそれぞれ 1 cm ずつ大きくとって下さい。すなわち、A4用紙の幅に対して左右それぞれ 3 cm ずつのマージンをとります。

タイトルはA4 用紙の上辺に約 3 cm のマージンを取り、センタリングします。以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

タイトル: ゴチック体 20 pt フォント  
(約 1.5 cm のスペース)

著者名: 明朝体 12 pt フォント  
(約 5 mm のスペース)

### (2) 本文部分のレイアウトとフォント

本文とキーワードの間に約 1 cm のスペースを空けてください。

本文は2段組で、左右のマージンは 2 cm ずつ、段と段との間のスペースは約 6 mm とします。下辺のマージンは 24 mm です。

本文には明朝体 10 pt フォントを用いて下さい。

1行 2.5文字前後

### (3) ヘッダとフッタ

タイトルページにはヘッダ機能を使って論文集の号巻数を入れます。また、すべてのページの下辺中央にフッタ機能を使ってページを入れます。事務局から通知された数値を最終原稿作成時に入れてください。

9 pt

右マージン 20 mm  
下辺マージン 24 mm

## 2. 一般ページ

ゴシック, 11 pt

第2ページ以降の通常のページは上辺のマージンを19 mm とします。それ以外はタイトルページの本文部分と同じレイアウトとフォントで本文を作成します。

### (1) 脚注および注

ゴシック, 10 pt

脚注や注はできるだけ避けて下さい。本文中で説明するか、もしくは本文の流れと関係ない場合には付録として本文末尾に置いて下さい。

1行以上

## 3. 見出し (見出しが1行以上に長くなるときはこの例のようにインデントして折り返す)

1行

### (1) 見出しのレベル

見出しのレベルは3段階までとします。第1レベルの見出し(章)はゴシック体とし、2. などの数字に続けて書きます。また、見出しの上下にスペースを空けます。このファイルのサンプルから分かるように、上を1行以上、下を1行程度空けて下さい。

1行

### (2) 第2レベルの見出し

第2レベルの見出し(節)もゴシック体で、(4)などの括弧付き数字を付けます。見出しの上だけに1行程度のスペースを空けて下さい。

### a) 第3レベルの見出し

ゴシック, 10 pt

第3レベルの見出し(項)は、括弧付きアルファベットを付け、上下には特にスペースを空けません。第3レベルより下位の見出しは用いないで下さい。

## 4. 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式(1a)

中央に → 
$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \quad (1b)$$

のように本文と独立している場合でも、 $C_D$ ,  $\alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します。数式や数学記号の品質が悪いと版下原稿として受け付けません。

数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰めになります。

表-1 表のキャプションは表の上に置く。このように長いときはインデントして折り返す。

明朝 9 pt

供試体番号	高さ(cm)	幅(cm)
1	145.5	25.0
2	175.5	40.0
3	190.0	65.0

ゴシック, 9 pt

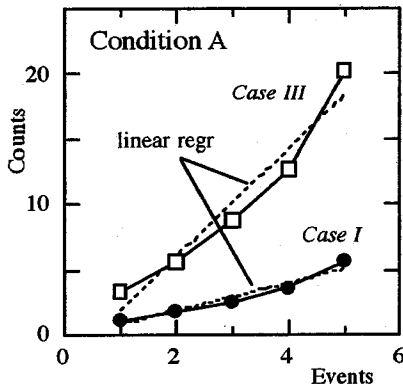


図-2 図のキャプションは図の下に置く

1ないし2行

## 5. 図表

### (1) 図表の位置

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。原稿末尾にまとめたりしてはいけません。また、図表はそれぞれのページの上部に集めてレイアウトして下さい。図表の横幅は、「2段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表-1や図-2のように「1段の幅いっぱい」のいずれかとなります。図表の幅を1段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置することはやめて下さい。図表と文章本体との間には1行程度の空白を空けて区別を明確にします。

### (2) 図表中の文字およびキャプション

図表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意してください。特にキャプションの大きさ(9pt)より小さくならないようにして下さい。

長いキャプションは表-1のようにインデントして折り返します。英文キャプションの場合は、見出しをTable 1やFig. 2としてください。

## 6. 参考文献の引用とリスト

参考文献は出現順に番号を振り、その引用箇所でのように<sup>1)</sup>上付き右括弧付き数字で指示します。参考文献はその全てを原稿の末尾にまとめてリストとして示し、脚注にはしないでください。

なお参考文献リストのあとに1行空けて、事務局から通知された原稿受理日を右詰めで書いて下さい。

## 7. 最終ページのレイアウトと英文要旨

最終ページには英文のタイトル、著者名および要旨を横1段組で書きます。このサンプルにあるように、本文や参考文献リストまでの2段組部分の左右の柱の高さをほぼ同じにし、1 cm 程度の空白を入れて英文要旨を配置します。英文要旨部分の幅はタイトル部分と同じく本文よりも左右を1 cm ずつ狭くします。

謝辞：「謝辞」は「結論」の後に置いて下さい。見出しとコロンをゴチック体で書き、その直後から文章を書き出して下さい。

## 付録 「付録」の位置

「付録」がある場合は「謝辞」と「参考文献」の間に置くこと。

- 参考文献 ← **ゴチック, 10 pt**
- 1) Hill, R.: A self-consistent mechanics of composite materials, *J. Mech. Phys. Solids*, Vol.13, pp.213-222, 1965.
  - 2) Blevins, R.D.: *Flow-Induced Vibration*, 2nd ed., Van Nostrand Reinhold, New York, 1990.
  - 3) Karniadakis, G.E, Orszag S.A. and Yakhot, V.: Renormalization group theory simulation of transitional and turbulent flow over a backward-facing step, *Large Eddy Simulation of Complex Engineering and Geophysical Flows*, Galperin, B. and Orszag, S.A. eds., Cambridge University Press, Cambridge, pp.159-177, 1993.
  - 4) ファン, Y.C.: 固体の力学/理論, 大橋義夫, 村上澄男共訳, 培風館, 1970.
  - 5) 土田建次, 木村 一: 版下原稿スタイルフォーマットの作成について, 土木学会論文集, No.333/II-99, pp.20-33, 1994.
- (1994. 2. 15 受付)
- ↑ **9 pt**
- ゴチック, 9 pt** →

およそ 1 cm

PRINT SAMPLE FOR JAPANESE MANUSCRIPT FOR JOURNALS OF JSCE

Editorial COMMITTEE, Japan SOCIETY and Civil ENGINEERING ← **12 pt**

1 cm

The present file has been made as a print sample of the camera-ready manuscripts for Journal of JSCE. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout, the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts. 1 cm

This English ABSTRACT has narrower width than the main text by 1 cm from the left and the right margins of the main text, respectively. Font used here is Times-Roman 10pt. The length may be within 7 lines. It is preceded by the title and the authors; both are centered and the font size is 12pt. 9 pt

**PRINT SAMPLE OF ENGLISH MANUSCRIPT FOR JOURNALS OF JSCE**

Editorial COMMITTEE<sup>1</sup>, Japan SOCIETY<sup>2</sup> and Civil ENGINEERING<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Member of JSCE, Dr. of Eng., Professor, Dept. of Civil Eng., Doboku University (Yotsuya 1, Shinjuku-ku, Tokyo 160, Japan)

<sup>2</sup>Member of JSCE, M. Eng., R & D Dept., Doboku Construction, Ltd. (13-5, Mitsuya 6, Shinjuku-ku, Tokyo 160, Japan)

<sup>3</sup>Member of JSCE, Ph. D., JSCE Corp.

The present file has been made as a print sample of the camera-ready manuscripts for Journal of JSCE. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts.

This ABSTRACT has narrower width than the main text by 1 cm from the left and the right margins of the main text, respectively. Font used here is Times-Roman 10pt. The length of ABSTRACT should be within 7 lines.

*Key Words* : Times, italic, 10pt, several words, one blank line below ABSTRACT, indent if key words exceed one line

**1. TITLE PAGE**

The first page consists of two parts.

(a) Front matter (title, authors, affiliations, abstract, key words): in single column.

(b) Main text: in double columns.

In addition, there are a header and a footer (page number). Some software may not have a function to change number of columns in the same file. In that case two separate files are provided for the title page.

**(1) Layout and fonts of the front matter**

The left and right margins of the front matter are 3 cm, respectively. In other words, the width of the front matter is narrower than that of the main text.

The front matter should be placed vertically in the following order:

(About 3cm blank space from the top of A4 sheet)

**Title:** Times-Roman, 18pt, bold.

(About 1.5cm blank space)

**Authors:** Times-Roman, 12pt.

(About 0.5cm blank space)

**Affiliations:** Times-Roman, 9pt.

(About 1.0cm blank space)

**Abstract:** Times-Roman, 10pt, max. 7 lines.

(1 line spacing)

**Key Words:** Times-Italic, 10pt, several words, max. 2 lines.

Affiliations are cited by superscripts as shown in the above example. The header 'Key Words' is bold and italic.

**(2) Layout and fonts of the main text**

Leave approximately 1cm blank space between the key words and the main text. The main text must be in double columns which have 2cm side margins and about 6mm space between the two columns. Use 11pt Times-Roman font for the main text.

**(3) Header and footer**

At the right top of the title page, place a header which indicates; name of the journal, volume and number of the issue, part of pages, year and month



of publication. Place the page number centered at the foot of each page. These information will be notified by the secretariat of JSCE before completing the final manuscripts.

**2. ORDINARY PAGES** ← 12 pt, bold

The ordinary pages, starting from the second page, contain the main text with 19mm top margin. The other layout is same as the main text in the title page.

**(1) Footnotes and remarks** ← 11 pt, bold

Avoid footnotes or remarks. Try to explain in the main text, or in Appendices.

more than 1 line

**3. HEADINGS (INDENT LIKE THIS SAMPLE IF IT IS LONG)**

1 line

**(1) Heading level**

Use at most three levels of headings which correspond to chapters, sections and subsections. The first level headings for chapter titles should be in 12pt bold face fonts and preceded by the chapter number as 2. Leave more than one blank line before the first level headings, and insert one blank line before the text.

1 line

**(2) The second level headings**

The second level headings, in 10pt. bold face fonts, are preceded by parenthesized section number like (4). Leave one blank line only before the heading.

**a) The third level headings** ← 11 pt, bold

These headings are preceded by lower case alphabet with a right parenthesis. Insert no blank lines before nor after the headings. The further lower level headings should be avoided.

**4. MATHEMATICS**

Use special high quality fonts either for mathematical equations, which are displayed separately from text, as Eq.(1a)

centered → 
$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_r \sin z dz \quad (1b)$$

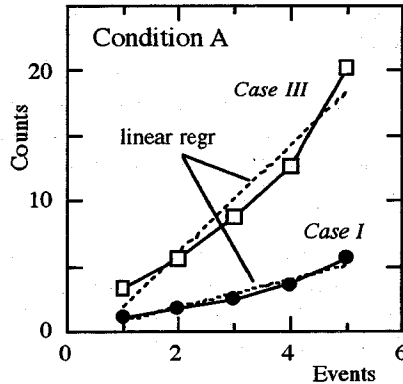
or for mathematical symbols which appear in text as  $C_D$ ,  $\alpha(z)$ . If their quality is not satisfactory, the manuscript may not be accepted. Displayed equations

**Table 1** Caption should be centered, but if it is long, it should be indented like this. ← 9 pt

Specimen No.	Height (cm)	Width (cm)
1	145.5	25.0
2	175.5	40.0
3	190.0	65.0

9 pt, bold

55 lines per a column



**Fig.2** Place the caption below the drawing.

1 or 2 lines

should be centered and numbered. The equation number, enclosed in parentheses, is placed flush right.

**5. FIGURES AND TABLES**

**(1) Location of figures and tables**

In general, figures or tables should be placed in the upper position on the same page where they are referred for the first time. Do not place them altogether at the end of manuscripts.

Figures or tables should occupy the whole width of a column, as shown in Table 1 or Fig.2 in the present example, or the whole width over two columns. Do not place any text besides figures or tables. Insert approximately one line spacing above the main text.

**(2) Fonts and captions**

Pay attention not to use too small characters in figures and tables. At least their character sizes should be larger than 9pt which is the size of captions. Captions should be centered, but long captions must be indented like an example of Table 1. The heading of captions is 9pt bold face.

## 6. CITATION AND REFERENCE LIST

All the references must be numbered in the order of appearance in the article and the right parenthesized numbers are used at the text where it is referred like this<sup>1)</sup>. The reference list must be summarized at the end of the main text. Use 9pt font for the list. The reference list is followed by the date of acceptance with one line spacing between them as shown in the present sample.

## 7. THE LAST PAGE AND JAPANESE ABSTRACT

A Japanese abstract should be placed at the end of the article. Title, authors and text of the abstract are arranged in the single column format with narrower width than the main text by 1cm wider margins in both sides.

The tail of the main text, up to the reference list and the acceptance date, should be arranged in two columns of an equal height. Insert approximately 1cm blank space between those columns and the Japanese abstract.

**ACKNOWLEDGMENT:** Acknowledgment should follow Conclusions and its text should be preceded by bold face heading directly.

## APPENDIX A APPENDIX

Appendix should be placed between Acknowledgment and References.

**REFERENCES** (10 pt bold)

1) Hill, R.: A self-consistent mechanics of composite materials, *J. Mech. Phys. Solids.*, Vol.13, pp.213-222, 1965. (9 pt)

2) Blevins, R.D.: *Flow-Induced Vibration*, 2nd ed., Van Nostrand Reinhold, New York, 1990.

3) Karniadakis, G.E., Orszag, S.A. and Yakhot, V.: Renormalization group theory simulation of transitional and turbulent flow over a backward-facing step, *Large Eddy Simulation of Complex Engineering and Geophysical Flows*, Galperin, B. and Orszag, S.A. eds., Cambridge University Press, Cambridge, pp.159-177, 1993.

(Received February 15, 1994)

about 1 cm

9 pt, bold

土木学会論文集の完全版下投稿用英文原稿作成例

Mincho, 12 pt

論文集編集委員会・事務局・Civil ENGINEERING

このファイルは土木学会論文集の完全版下原稿（英文）を作成するために必要な、レイアウトやフォントに関する基本的な情報を記述しています。と同時に版下原稿そのものの体裁（A4）をとっているため、このファイルの中の文章や図表をこれから書こうとしている実際のものに置き換えれば、所定のフォントや配置の原稿を容易に作成することができます。

この和文アブストラクトの部分の幅は本文よりも左右を 1 cm ずつ狭くします。和文アブストラクトのフォントは明朝体 9pt を用いてください。和文アブストラクトの長さは 7 行程度です。

1 cm

1 cm

Mincho, 9 pt

---

# 土木学会論文集編集委員会

---

委員長……………田辺忠顕\*

副委員長……………山口正記

幹事長……………野村卓史

## 第1小委員会

委員長……………西岡 隆\*

委員……………家村浩和

委員……………北原道弘

委員……………崎元達郎

委員……………杉戸真太\*

委員……………原田隆典\*

委員……………藤野陽三\*

委員……………依田照彦\*

委員……………涌井 一\*

幹事……………堀井秀之\*

編集調整会議幹事……………森 猛

## 第2小委員会

委員長……………村岡浩爾\*

委員……………喜岡 涉

委員……………出口一郎

委員……………辻本哲郎\*

委員……………藤間 聡\*

委員……………森澤真輔\*

幹事……………山田 正

編集調整会議幹事……………田中昌宏

## 第3小委員会

委員長……………徳江俊秀

委員……………亀村勝美

委員……………関口秀雄

委員……………高橋邦夫\*

委員……………久武勝保\*

委員……………兵動正幸\*

委員……………山口靖紀

幹事……………大谷 順\*

編集調整会議幹事……………京谷孝史\*

## 第4小委員会

委員長……………大蔵 泉\*

委員……………鹿島 茂\*

委員……………加賀屋誠一

委員……………北村隆一\*

委員……………小林潔司\*

委員……………新田保次

幹事……………斎藤 潮

編集調整会議幹事……………溝上章志

## 第5小委員会

委員長……………山崎 淳

委員……………尼崎省二

委員……………出光 隆\*

委員……………坂田耕一

委員……………平澤征夫\*

委員……………宮本征夫

委員……………山田 優\*

幹事……………前川宏一

編集調整会議幹事……………出雲淳一\*

## 第6小委員会

委員長……………山口正記

委員……………伊藤 洋\*

委員……………国重敏明\*

委員……………豊福俊泰

委員……………中村兵次

委員……………茗ヶ原義彦\*

委員……………吉川弘道

幹事……………河野重行\*

編集調整会議幹事……………青柳 薫\*

\*平成6年度新任

---

### 討議について

この論文集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は平成7年2月21日とする。

All communications and discussion (open until February 21, 1995) relating to the papers included in the Journal should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

---

お詫び

非定常開水路流れの乱流構造に関する実験的研究

著者：榊津家久・門田章宏・中川博次

(土木学会論文集 第491号/II-27, pp.81~88, 1994.5)

p.83とp.84とが入替っておりました。関係者の皆様にお詫び申し上げます。

---

## 電子的に論文集のサンプル等を取り寄せる際の注意

論文集編集委員会

---

論文集用版下原稿のサンプルファイル、スタイルファイルを東北大学のライブラリーにアクセスしてftpやメールで電子的に取り寄せるとき、下記にご注意下さい。

なお、取り寄せ方の詳細は、学会誌1994年6月号綴じ込みの色紙をご参照下さい。

記

1. ftpによる場合には忘れずにbinaryモードにすること。
2. メールによる場合には次のことを確認すること。
  - (a) 正しくファイル名をフルパスで入力していること。
  - (b) 自分が出したメールに付くFrom：に必ずメールが返送できること。
  - (c) 心配な場合、あるいは返送されなかった場合にはReply-To：に半角英字で返送先を明記すること。
  - (d) 複数のファイルは単純にそれを横に並べること。

特にNifty等からのメールでは差し出し人が漢字で書かれていることがあり、ある特定の条件を満足しない場合には返送できません。もともとInternetでは、漢字のIDを使用できませんので、この返送ソフトでは対応できません。

かならずReply-To：のフィールドを定義するようにして下さい。

以上

\*本文用紙は再生紙を使用しております。

---

**土木学会論文集** No.497/II-28

定価1500円(本体価格1456円)

平成6年8月15日 印刷

平成6年8月21日 発行

発行者——— 社団法人 土木学会 専務理事 河野 宏

東京都新宿区四谷1丁目無番地

発行所——— 社団法人 土木学会

〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地 振替東京6-16828番

電話03-3355-3441(代) Fax03-5379-2769,03-5379-0125

印刷所——— (株) 技報堂

造本デザイン—海保 透

---